

平成28年度「福島県学力調査」結果について 《中学校第2学年》

福島県教育委員会

1 調査趣旨

全県的な規模で児童生徒の学習の実現状況を調査し、学習指導上の課題及び学習指導の改善点を明らかにし、各学校等における改善の取組に資するとともに、学習習慣や生活習慣及び意識等と学力との関連性を分析し、学校を中核としながら地域や保護者と連携して学力向上に取り組む基盤づくりを図る。

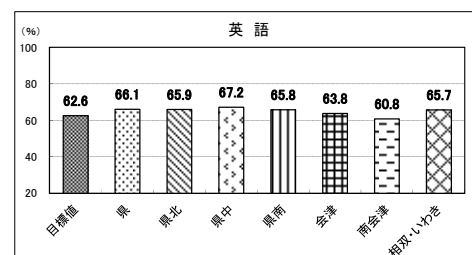
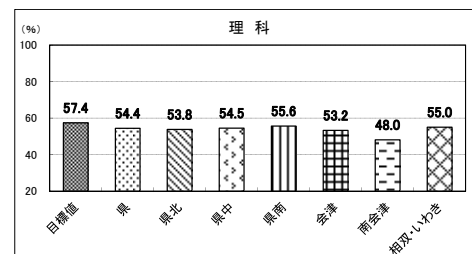
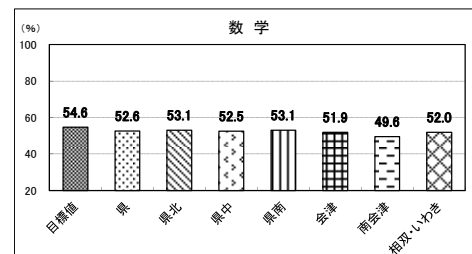
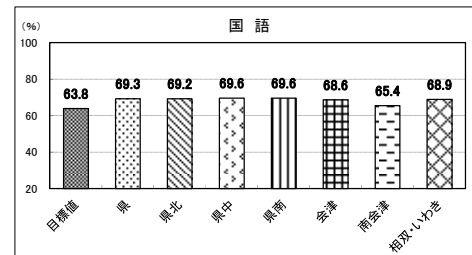
2 実施日程

平成28年11月7日(月)～11日(金)

3 受検人数及び調査時間(中2)

【受検人数】				
国語	数学	理科	英語	意識
16,228	16,229	16,238	16,239	16,235
【調査時間】				
50分	50分	50分	50分	30分程度

4 生活圏別教科平均正答率



5 結果の概要

※目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合に、正答できることを期待した生徒の割合。

1) 国語

①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	69.3	63.8

教科全体の平均正答率は69.3%で、目標値を5.5ポイント上回っている。

②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	69.3	63.8
	知識	65.7	63.6
	活用	73.4	64.2
領域	話すこと・聞くこと	80.4	70.0
	書くこと	76.4	65.6
	読むこと	72.7	62.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.9	62.5
	国語への関心・意欲・態度	78.1	68.0
観点	話す・聞く能力	80.4	70.0
	書く能力	76.6	65.8
	読む能力	73.7	62.9
	言語についての知識・理解・技能	62.6	62.8

領域別平均正答率では、三つの領域が目標値を10ポイント以上上回っているが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は下回っている。観点別平均正答率では、四つの観点が目標値を10ポイント以上上回っている。

4) 英語

①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	66.1	62.6

教科全体の平均正答率は66.1%で、目標値を3.5ポイント上回っている。

②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	66.1	62.6
	知識	74.8	70.2
	活用	52.9	51.1
領域	聞くこと	75.5	70.5
	読むこと	61.5	61.3
	書くこと	63.0	57.7
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	64.7	61.3
	外国語表現の能力	50.5	50.3
	外国語理解の能力	68.6	64.7
	言語や文化についての知識・理解	71.9	67.5

領域別平均正答率では、すべての領域で目標値を0.2～5.3ポイント上回っている。観点別平均正答率でも、すべての観点が目標値を0.2～4.4ポイント上回っている。

2) 数学

①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	52.6	54.6

教科全体の平均正答率は52.6%で、目標値を2.0ポイント下回っている。

②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	52.6	54.6
	知識	53.6	57.5
	活用	50.1	47.5
領域	数と式	50.3	57.5
	図形	58.7	57.5
	関数	53.8	53.8
	資料の活用	50.5	49.2
観点	数学への関心・意欲・態度	46.8	47.7
	数学的な見方や考え方	50.9	50.4
	数学的な技能	52.6	55.7
	数量や図形などについての知識・理解	51.3	53.9

領域別平均正答率では、「図形」「資料の活用」が目標値を上回り、「関数」が目標値と同率で、「数と式」は目標値を7.2ポイント下回っている。観点別平均正答率では、「数学的な見方や考え方」が目標値を0.5ポイント上回っているが、他の観点は目標値を0.9～3.1ポイント下回っている。

3) 理科

①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	54.4	57.4

教科全体の平均正答率は54.4%で、目標値を3.0ポイント下回っている。

②カテゴリー別正答率 (%)

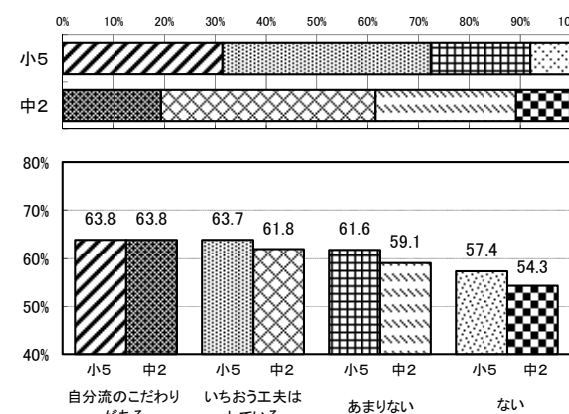
分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	54.4	57.4
	知識	56.2	59.8
	活用	50.0	51.5
領域	生命	66.3	61.2
	粒子	43.4	50.0
	エネルギー	51.1	52.5
	地球	47.4	62.9
観点	自然事象への関心・意欲・態度	54.6	56.1
	科学的な思考・表現	54.6	57.7
	観察・実験の技能	40.6	43.1
	自然事象についての知識・理解	57.7	61.0

領域別平均正答率では、「生命」が目標値を5.1ポイント上回っているが、他の領域は目標値を下回り、特に「地球」は15.5ポイント下回っている。観点別平均正答率では、すべての観点が目標値を1.5～3.3ポイント下回っている。

5) 意識調査

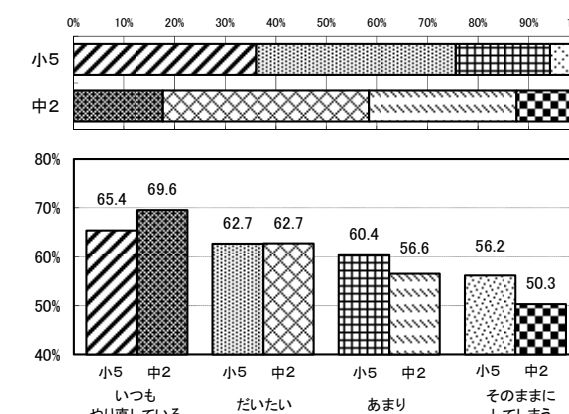
※①～④の4項目については、裏面に記載。
※帯グラフは各選択肢の割合。縦棒グラフは各選択肢を選んだ集団ごとの全教科の平均正答率(小：3教科、中：4教科)。

⑤「ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか」



ノートの取り方の工夫について、「自分流のこだわりがある」「いちおう工夫はしている」と肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「自分流のこだわりがある」と「ない」との差は、小学校で6.4ポイント、中学校で9.5ポイントである。

⑥「テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか」



テストでまちがえた問題について、「いつもやり直している」「だいたい」と肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「いつもやり直している」と「そのままにしよう」との差は、小学校で9.2ポイント、中学校で19.3ポイントである。

①～⑥の「とてもうれしかったことがある」「たくさんある」「よく発言する」「みんな言える」「自分流のこだわりがある」「いつもやり直している」と肯定的に回答している児童生徒ほど、平均正答率が高いことが分かる。一方で、否定的に回答している児童生徒ほど、平均正答率が低いことが分かる。